

しかし、トヨタの社長には少しがっかりしました。

日本のメーカーではあるが、アメリカで工場を建設し車を生産し、アメリカ人を雇用している。アメリカ経済に、弊社なりに寄与していると確信している。

そのくらいのこと言ってもいいんじゃないかな…？日本のトップメーカーとしての矜持を見せてほしかったですね。

また、アメリカの車が日本で売れないのはメーカーの研究不足、技術の開発のレベルの低さでしょ。日本の道路はアメリカのように広くありません。日本のガソリンは税金が高くてアメリカのように安くありません。凶体のでかい車を販売しようっても、燃費が悪い車を買えっていても、無理がありませんか？

欧州のメーカーと比べれば、違いは歴然です。日本で売れる車を開発すべきですよね。

さて、トランプ氏は米軍の駐留費全額負担をつきつけました。

いい機会だと思います。自分の国は自分で守りましょ。

この際、自国だけで防衛ができるようにシュミレーションしたらいかがなものでしょう。少なくとも今の防衛費の額ではダメです。まずは倍の10兆円くらいは予算を組みましょ。(GDPにも寄与します)

東南アジア諸国と「安全保障同盟」なようなものも結ぶことが必須です。

もちろん同盟国の集団的自衛権を、確認しましょう。

「集団的自衛権」

例えばジャイアンがスネ夫にいちやもんをつけて、いじめようとしたとしましょ。スネ夫一人だと簡単にジャイアンにぶん殴られてのびてしまいます。

そこでのび太君、しずかちゃん他クラスのみんなが、友達がいじめられそうになった時は本気でみんなで助けよう、と約束するのです。

スネ夫の後ろに自分より弱いとはいえ、何十人ものクラスメイトが本気でにらんでいれば、さすがのジャイアンもスネ夫に手は出せないでしょう？

集団的自衛権は戦争を回避するための手段の一つだと考えます。

集団的自衛権に反対する人も賛成する人も根っこは同じなんですよ。

それは

「戦争をしてはならない！」

という思いです。

参考までに、私の好きなマンガ、弘兼憲史氏の「島耕作」の中に、わかりやすく説明している部分があったので添付します。ご覧ください。



いかがでしたか？

戦争にならないための集团的自衛権でした。

ラグビーに見る指導法

私は野球をやっていますが、ラグビーが大好きです。ルールさえわかれば、こんなに面白いスポーツはないと思っています。



今年のラグビーは高校、大学、社会人とも順当に優勝候補が勝ちました。

それぞれ最終の点差はせていましたが、試合内容は勝つべきチームが勝ったと

いう感じでしたね。

優勝した学生チームには共通したことがありました。それは何か？

指導者が

「教えない」

ということです。

高校は東福岡高校。準々決勝、準決勝と薄氷を踏む勝利で決勝に進出。決勝では点差ほどの(28-21)接戦ではなく危なげない勝ち方でした。

大学は帝京大学、8連覇は見事です。これまた点差ほどの接戦には見えませんでしたね。(33-26)

東福岡高校が弱小チームだったころから30年間チームを育て、現在の様な強豪校にしたのは、現法政大学監督の谷崎監督です。

谷崎氏は赴任当初からラグビー部監督を務め、3年目で全国大会に導き、4度の優勝をもたらした名監督です。

以下は谷崎監督が法政大学へ行く数年前の前のコメントより抜粋

転機となったのはニュージーランドへの留学です。ニュージーランドはラグビーが世界一強くて盛んな国です。その文化に触れて日本を外から眺めることで、私の価値観は大きく変わりました。

それまでの私は勝つことばかりに意識が